

令和4年度伊予市社会福祉協議会事業報告書

【概況】

少子高齢化・核家族化の進行、人口減少などを背景に、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯などが増加するとともに、家庭環境の機能が脆弱化するなど、地域での課題解決が難しくなっています。

また、ひきこもりやDV、権利擁護、生活困窮などの従来の福祉制度の枠組みでの対応が困難な課題が増大するとともに多様化しています。

加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大により日常生活は大きく変化するとともに、経済活動など様々な課題も発生し個人収入の減少や雇止めなどにより、新たな生活課題が発生しています。

このような中、本会は『一人一人の住民が、その人らしく、安心して生き生きと暮らせるしあわせのまちづくり』を理念に掲げ、地域福祉を推進する中核的な団体として、総合的に伊予市の地域福祉の充実・推進に取り組みました。

令和4年度の事業計画に基づき、重点目標を次の6点として社会福祉の推進に取り組みました。

【重点目標】

1. 一人一人の住民が、その人らしく、安心して生き生きと暮らせるしあわせのまちづくりの実現を目指します。(法人全体)
2. ささえあいの地域づくりを推進するために本会を中心とした活動を進めるとともに、地域の各団体との連携・協働による取り組みを広げ、地域のつながりの強化に努めます。(地域福祉事業)
3. 福祉専門員のスキルを向上し、地域住民のあらゆる生活課題を受け止め、相談・支援活動、権利擁護支援等に対応します。(地域福祉事業)
4. 市民の福祉意識の醸成を図るとともに、ボランティア活動の振興を図ります。
5. 介護保険事業などの安定した運営のため、介護職員の人材確保が最重要課題となっています。職員の研修については、内部研修の充実及び外部研修へ参加することにより利用者へのサービス提供及び家族への支援に役立てます。(介護保険事業・障害支援事業)
6. 指定管理事業の生きがい活動センターは、市民の集いの場として介護予防支援を目的とした拠点施設となっています。時代の変化に合わせ、市民から求められる施設設備を充実するとともに介護予防の普及啓発や趣味及び生きがい活動の会場や交流の場として利用者の拡大を図っていきます。

以下、令和4年度に掲げた事業計画区分ごとに報告します。

≪社協運営事業≫

1. 法人運営等事業

※決算区分No.1～3

【事業内容】

理事会及び評議員会の開催並びに監査の実施等により、社協運営の発展と事務事業の適正化を図るとともに、福祉活動専門員による各種課題解決への取り組みや関係諸団体の活動支援、社協会員・会費についての啓発、社協だよりによる社協の取り組みの報告や各種事業のPR、また、新型コロナウイルス感染症対策の情報提供等を行った。

【実績】

1. 法人運営会議等

①理事会

開催日	令和4年6月8日・10月25日・12月6日・令和5年3月14日
場 所	伊予市総合保健福祉センター2階活動室
内 容	事業実績・決算、評議員選任候補者の推薦、評議員選任・定時評議員会開催、上半期活動報告、補正予算、規程一部改正、事業計画・予算など

②評議員会

開催日	令和4年6月28日・12月19日・令和5年3月28日
場 所	伊予市総合保健福祉センター2階活動室
内 容	事業実績・決算、補正予算、事業計画・予算など

③監 査

開催日	令和4年5月13日
場 所	伊予市総合保健福祉センター2階活動室
内 容	令和3年度事業実績・決算

④評議員選任・解任委員会

開催日	令和4年11月2日
場 所	伊予市総合保健福祉センター2階活動室
内 容	評議員の選任

2. 広報啓発

①広報誌「いよし社協だより」の発行（年6回、奇数月）

内 容	事業計画・予算、社協会員加入のお願い、事業報告・決算、共同募金や生活相談支援センターからのお知らせ、障害者相談支援センターからのお知らせ、民生児童委員から地域の皆さまへ、介護予防教室のお知らせ、ふれあい・いきいきサロン、就労準備支援事業・家計改善支援事業について、就労・生活支援サポーター養成講座、家計見直しセミナー、地域福祉活動計画の策定に向け
-----	---

て、あい・愛フェスタについて、民生児童委員一斉改選ほか

②社協イメージキャラクターあいみん。の日の活動

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

3. 地域福祉活動計画審議会の開催

①令和4年度第1回審議会

日 時 令和4年8月19日(金)

場 所 (書面開催)

内 容 第4期地域福祉計画・地域福祉活動計画(案)について

②令和4年度第2回審議会

日 時 令和4年10月21日(金)

場 所 伊予市役所 大会議室

内 容 地域福祉計画・地域福祉活動計画の素案修正について

③令和4年度第3回審議会

日 時 令和4年11月18日(金)

場 所 伊予市役所 大会議室

内 容 地域福祉計画・地域福祉活動計画の最終案について

④しあわせのまちづくり懇談会

期 間 令和4年6月29日(水)から7月8日(金)

場 所 伊予市総合保健福祉センター、大平・上野地区公民館、中山・
双海地域事務所

内 容 伊予市内の6地区社協ごとに、1回の開催とし、10年後の私の暮らしを考えてみよう。と題し、こんな風に暮らしたい・こんな地域に住みたい・生活の中で困っていること・私に今、できることについてヒアリングを行いました。

4. 法人連携会議

伊予市社会福祉法人連携会議

日 時 令和4年12月12日(火) 午前10時から

場 所 伊予市総合保健福祉センター2階活動室

内 容 コロナ対策の現状と今後の取組みについて、各社会福祉法人における課題と対策について

5. 伊予市社協福祉まつり『あい・愛フェスタ』の開催

日 時 令和4年11月20日(日) 午前9時30分から

場 所 伊予市総合保健福祉センター2階

内 容 式典(表彰のみ開催) ボランティアフェスティバル

民生児童委員、高齢者見守り員、ボランティア、共同募金運動
功労者等への表彰状及び感謝状

被表彰者：48人、5団体、1学校

6. 福祉機器の貸し出し 67件

内 訳： 車いす 59 件、ポータブルトイレ 4 件、バスボード 0 件、歩行補助器 3 件、シャワーチェア 1 件

7. 関係諸団体の活動支援

伊予市民生児童委員協議会

地区社協の活動支援

区長協議会 6 地区

※新型コロナウイルスの影響により 2 団体辞退

《地域福祉事業》

2. 福祉サービス利用援助事業

※決算区分No.4

【事業内容】

認知症や知的障がい・精神障がいなどで判断に迷い、適切な福祉サービスを受けることができない方に対し、専門員及び生活支援員による福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理サービスを行うことにより、できる限り地域で安心して自立した生活を送ることができるよう支援を行った。

1. 業務範囲

①調査、支援計画の策定、契約など

②福祉サービスの利用援助

③日常的な金銭管理

④書類等の預かり

2. 人員体制

① 専門員：3 人（社会福祉協議会職員）

② 生活支援員：1 人（社会福祉協議会非常勤職員）

【実績】

○利用者数 12 人（内訳：認知 1 人、精神 6 人、知的 5 人）

○支援回数

定期支援 延 171 回（月平均 14.3 回）

相談援助 延 339 回（月平均 28.3 回）

○その他 問い合わせ等 9 件／12 か月

3. 法人後見事業

※決算区分No.5

【事業内容】

認知症や知的障がい・精神障がい等で日常生活上の判断能力が不十分になった場合に、不動産や預貯金などの管理、福祉サービスに関する契約、遺産分割などで不利益をこうむることがないように、社会福祉協議会が成年後見人等となり保護・支援を行った。

【実績】

○受任件数 10 件

- ・補助 1 件 60 代 1 人 精神障がい (在宅)
- ・後見 9 件 50 代 1 人 精神障がい (長期入院)
- 50 代 1 人 知的障がい (在宅)
- 50 代 1 人 知的障がい (施設入所)
- 60 代 1 人 知的障がい (グループホーム)
- 60 代 1 人 知的障がい (在宅)
- 70 代 1 人 認知証あり (入院中)
- 80 代 1 人 認知症 (介護療養施設) 9 月 6 日死去
- 90 代 1 人 認知症 (特別養護老人ホーム) 7 月 28 日死去
- 90 代 1 人 認知症 (特別養護老人ホーム) 1 月 6 日死去

○訪問及び相談支援回数

- ・補助 146 回
- ・後見 774 回
- 合計 920 回 月平均 77 回

○その他 相談・問い合わせ、制度紹介等 5 件/12 か月

4. 民生児童委員協議会運営事業

※決算区分No.6

【事業内容】

民生児童委員協議会の事務局として、地域福祉活動推進の支援を行った。

【実績】

○正副会長会・役員会・監査

- ・正副会長会
 - ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・役員会
 - 実施回数：12 回 (毎月 1 回)
 - 参加延べ人数：227 人

- ・監査

実施日：令和4年4月4日

内容：令和3年度会計監査

参加人数：4人

- 総会及び臨時総会

- ・総会

内容：令和3年度事業報告・収支決算について

令和4年度事業計画（案）・収支予算（案）について

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面決議

- ・臨時総会

実施日：令和4年12月1日

内容：一斉改選に伴う会長・副会長・監事の選任について他

参加人数：102名

- 主な研修会

- ・全体研修会・県外視察研修等

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ・新任民生委員・児童委員勉強会

実施日：令和5年1月24日

内容：活動記録簿記入方法の説明他

参加人数：60名

- その他

- ・みんな集まれ「にこにこ食堂」

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ・赤い羽根共同募金 事業所・法人募金活動への協力

- ・災害ボランティア養成講座に参加

- ・ほっとネットいよし（ふくしネットワークづくり検討会）への参加

5. 共同募金事業

※決算区分No.7

【事業内容】

令和3年度に地域の方々からいただいた「赤い羽根募金」を、児童・障がい者・高齢者支援などを行うボランティアグループや福祉団体等に助成し、また、社会福祉協議会が行う様々な福祉活動に活用した。

令和4年度に地域の方々からいただいた「歳末たすけあい募金」については、地域交流等のために有効利用した。

【実績】

1. 募金活動（愛媛県共同募金会伊予市支会で実施）

- ・赤い羽根募金

期間：令和4年10月1日～令和4年12月31日（3か月間）

- ・歳末たすけあい募金

期間：令和4年12月1日～令和4年12月31日（1か月間）

2. 募金使途

愛媛県共同募金会伊予市支会の配分計画を基に活用

- ・赤い羽根募金

（令和3年度にいただいた募金総額の約4割を愛媛県内で活用し、約6割を次のとおり活用）

ボランティア団体助成（16団体）

老人福祉団体助成（1団体）

障害児・者福祉団体助成（3団体）

児童・青少年福祉団体助成（15団体）

その他福祉団体助成（1団体）

公募配分「ささえあい活動支援」（4団体）

社会福祉協議会実施事業

（卒寿記念品贈呈・広報発行・高齢者見守り員視察研修・レクリエーション器具及び健康器具の整備 他）

- ・歳末たすけあい募金

歳末ふれあいの集い（85か所（総参加者数3,007名）で開催）

ちびっ子クリスマス会（市内児童クラブ13か所（参加児童数444名）で開催）

ひとり暮らし高齢者友愛訪問（507名宅に訪問）

6. 生活福祉資金貸付事業

※決算区分No.8

【事業内容】

低所得者世帯等に対し、資金の貸付けや必要な相談支援を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長並びに社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるよう支援した。

更に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、失業や給与の減少に伴い生活環境が変わった方に対しての特例貸付が令和2年3月25日から開始され、令和4年9月まで受付をすることになった。この貸付により生活再建を行い、また生活困窮者自立支援法に基づく各事業と連携し、より効果的・効率的な支援を実施することにより、生活困窮者の自立促進を図った。

（注）伊予市社会福祉協議会では、利用希望者の相談受付、申請手続きを行うのみ

で、資金貸付は愛媛県社会福祉協議会で審査、決定の上行なっている。

【実績】

○相談件数 延 80 件

内 訳

世帯種別：低所得世帯 22 件、障害者世帯 9 件、母子世帯 11 件、
生活保護世帯 8 件、その他 30 件

資金種別：福祉資金（緊急小口）39 件、福祉資金（小口以外）10 件、
教育支援資金 5 件、総合支援資金 23 件、
不動産担保型資金 3 件

○貸付件数 34 件

内 訳

資金種別：福祉資金（福祉費）1 件、教育支援資金 1 件
福祉資金（緊急小口）18 件（うち特例貸付 11 件）、
総合支援資金 14 件（全て特例貸付）

7. まごころ銀行事業

※決算区分No.9

【事業内容】

預託いただいた方の意思に沿って、一人ひとりが豊かで、お互いに支えあい、
また、安全・安心で快適に過ごすことができる地域を目指し、各地区社会福祉協議
会活動やボランティア事業等に預託金を活用した。

【実績】

預託状況

- ・香典返し等 14 件、計 354,758 円

払出状況（運営委員会の計画に基づく助成等）

- ・指定団体等への払い出し

- ・各地区社会福祉協議会助成金（市内 6 地区）

使いみち：地域ふれあい事業、敬老の家事業、給食サービス事業、紙おむ
つ支給事業 他

※新型コロナウイルスの影響により、3 団体一部返金

- ・災害見舞金（火事見舞 1 件）
- ・ボランティア関係事業

8. 生活困窮者自立支援事業

※決算区分No.10~12

【事業内容】

日々の生活のこと、仕事のことなど、様々な事情で経済的な困窮状態に陥っている方からの相談を受け、その方の状況を把握して、必要な支援につながるよう関係機関と連携し、生活困窮者の自立の促進に努めた。

生活困窮者自立支援事業

【実績】 相談受付総数 56件 継続支援者数 107名
うち、プラン作成件数 3件

【主な活動】・生活困窮の相談
・出張相談会の開催
相談件数 25件（伊予、中山、双海等で主に月1回の開催 延35回）
・生活困窮者自立支援事業ネットワーク連絡会の開催 2回
・ほっとネットいよし（検討会・イベント）への参加

就労準備支援事業

【事業内容】

生活リズムが乱れている、社会とのかかわりに不安を抱えている等の理由で就労に向けた準備が整っていない方に対して、基礎能力の形成からの支援を計画的に実施した。

【実績】 プラン作成件数 2件

【主な活動】・すぐに一般就労に就くことが難しい方に対し、支援付きの就労・訓練の場（あいみん食堂）の開催 7回
・就労体験の場として協力いただける企業さんへの周知活動
・就労生活支援サポーター養成講座の開催 1回

家計改善支援事業

【事業内容】

家計のやりくりがうまくできない、家計に不安や課題がある方に対して、家計相談やの立て直しの提案等（家計の見える化）を行い、相談者自らの力で家計管理ができるように支援するとともに、早期に生活再生ができるように支援した。

【実績】 プラン作成件数 6件

【主な活動】・定期的に面会し、家計のアドバイスや支払いに関し関係機関への同行を行う。
・債務整理に関する支援（多重債務者の相談窓口へのつなぎ、状況に応じた専門家への取り次ぎ）
・公的貸付制度へのつなぎ（貸付を受けることにより生活を立て直すことができる見込みがある場合の公的貸付制度へのつなぎ）
・家計改善セミナーの開催 1回

9. 心配ごと相談事業

※決算区分No.13

【事業内容】		
日常生活におけるさまざまな悩みごとに、専門的見地からアドバイスを行った。		
【実績】		
弁護士相談 84件	向井法律事務所所属弁護士 (ボランティアセンターで 毎月第1・3水曜日)	生計(1)年金(1)職業・生業(3) 住宅(5)家族(15)離婚(12) 財産(35)事故(6)苦情(1) 医療(2)人権・法律(2)その他(2)
行政書士相談 7件	愛媛行政書士会松山支部所属 行政書士 (ボランティアセンターで 毎月第2金曜日)	相続ほか
税理士相談 23件	四国税理士会松山支部所属 税理士 (ボランティアセンターで 毎月第2・4火曜日)	税務相談ほか

10. 高齢者見守り員設置事業

※決算区分No.14

【事業内容】
概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者等に対し、定期的な見守りや相談支援を行うことで、不測の事故等を防止し、高齢者福祉の増進に努めた。また、研修会を開催し高齢者見守り員の資質向上を図った。
【実績】
<p>1. 高齢者見守り員</p> <p>見守り員数：93名</p> <p>対象者数：約490名</p> <p>活動内容等：友愛訪問</p> <p>関係各機関行事等への協力</p> <p>緊急時安心キットの配布</p> <p>定例会：各地区（伊予地区・中山地区・双海地区）で2か月に1回開催し情報交換及び関係事業の総合調整を行う。</p> <p>全体研修会：5月「ゲートキーパー養成講座」</p> <p>10月「ゲートキーパー養成講座 応用編」</p>

11. ふれあい・いきいきサロン事業

※決算区分No.15

【事業内容】

地域の世話人が中心となり、集会所等を利用して高齢者のふれあいや交流の場を設け、レクリエーションや一緒に食事を楽しむことで、毎日の生活に変化をつけ、孤独感の解消を図った。

【実績】

1. サロン数等

サロン数：64 か所

内訳：大平 2 か所、中村 11 か所、郡中 19 か所、上野 11 か所、
中山 13 か所、双海 8 か所

実施回数：588 回／年

参加者数：延 7,783 人（平均 13.2 人／回）

2. 世話人研修会

・第 1 回

開催日：8 月 26 日

開催場所：伊予市総合保健福祉センター

内 容：特殊詐欺防止についての講話、ペットボトルのキャップを使った簡単な脳トレ

参加人数：34 名

・第 2 回

開催日：2 月 24 日

開催場所：伊予市総合保健福祉センター

内 容：貸出遊具の使い方説明・体験、次年度の説明

参加人数：55 名

12. ボランティア活動推進事業

※決算区分No.16

【事業内容】

新型コロナウイルス感染症拡大により、多くの事業が中止となる中で、様々な機関と協働してボランティアの振興を図るとともに、感染対策を講じた上での講座等の開催、広報誌及びホームページで情報発信などを行った。

【実績】

1. ボランティアセンターの活動

- ・ボランティア活動の相談・援助

相談件数：5 件

援助件数：3件

・ボランティア保険への加入手続き

福祉サービス総合補償：3件

ボランティア活動保険：32件

ボランティア行事用保険：23件

・ボランティア講座等の開催

バスケット講座・交流会

開催日：10月から毎月第2土曜日（2月のみ第1土曜日）、6回開催

開催場所：伊予市児童センター みんなくる

目的：スポーツで共に汗を流して同じ時間を共有する中で、人と人がつながることでの地域コミュニティを形成し、その延長として、健全な地域社会を構築していくことを目的に開催した。

参加人数：延べ113名

ピアノ講座・交流会

開催日：12月から毎月第3水曜日（12月のみ第2水曜日）、4回開催

開催場所：IYO 夢みらい館

目的：ピアノを通じての人と人のつながりや、演奏を通しての地域とのつながりにより生まれる喜びから人生を豊かにし、更に豊かな地域を育むことを目的に開催した。

参加人数：延べ62名

災害ボランティア養成講座

開催日：3月22日（水）

開催場所：伊予市総合保健福祉センター

内容：「わが身、わが命は自分で守る」

～まずは自分と家族の命を守るためにできること～

参加人数：31名

・イベント等の開催

家具転倒防止事業（計画日8月～9月）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

伊予市社協福祉まつり「あい・愛フェスタ」

開催日：11月20日（日）

開催場所：伊予市総合保健福祉センター

参加団体：12団体（内、活動発表・その他（手話通訳）での参加1団体）

活 動 発 表 : 8 団 体

バザー出店 : 2 団 体

体験コーナー : 1 団 体

そ の 他 : 2 団 体 (手話通訳、活動発表司会進行)

そ の 他 : 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため縮小開催

・手話サロンの開催

開催回数

毎月第 3 月曜日 (祝日の場合は第 2 月曜日、12 月は指導者都合で中止)

実施回数 : 11 回

延参加人数 : 71 人

・広報啓発

広報誌「ぽかりん通信」の発行 (年 6 回)

ボランティア活動情報の掲示

ホームページなどによる情報発信とボランティアの啓発 など

・福祉教育

福祉教育ガイドブックの作成

指導実績

講話 (外部講師派遣) : 1 校 (授業時間数 1 コマ)

高齢者疑似体験 : 2 校 (授業時間数 4 コマ)

高齢者との交流会 : 1 校 (授業時間数 4 コマ)

車 イ ス 体 験 : 2 校 (授業時間数 7 コマ)

福祉用具貸出実績

高齢者疑似体験セット : 1 校

車 イ ス : 1 校

・ボランティア連絡協議会の運営

伊予市ボランティア連絡協議会代表者会

開 催 日 : 5 月 26 日 (木)

開催場所 : 伊予市総合保健福祉センター

参加人数 : 14 団体 14 名

そ の 他 : 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため総会でなく代表者会として開催

第 10 回広域松山圏ボランティア交流会 in 久万高原町

開催日：7月10日（木）

開催場所：久万高原町 久万町民館

参加人数：5名（事務局含む）

その他：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため縮小開催

伊予市ボランティア連絡協議会交流会

開催日：3月20日

開催場所：久万高原町

参加人数：12団体21名

・その他

エコキャップやプルタブの回収、各種研修会（Zoom）等への参加 など

2. ボランティアセンターの施設利用状況

会議室等の名称：第1活動室、第2活動室、第3活動室、録音室、集いの場

利用者数：延6,412名

13. じゅらく生きがい活動センター等事業

※決算区分No.17～19

【事業内容】

介護予防事業を効果的・効率的に推進するため、介護予防支援の拠点施設として地域の特性に応じた介護予防事業を提供し、併せて市民の交流・憩いの場としての施設として各種事業を実施した。

1. 介護予防の普及啓発に関する事業

- ・認知症予防「スマイルクラブ」及び機能訓練「機能アップ教室」の実施
- ・レクリエーション活動、制作活動、運動機能を維持する体操、生きがいに関する活動及勉強会の実施
- ・地域包括支援センター等との連携による「家族介護教室」の実施
- ・マッサージチェア等の利用調整とリラックスできる居場所づくり
- ・広報誌及びホームページを活用した活動予定等の情報発信

2. 一般介護予防通所サービス事業

- ・通所サービスじゅらくの実施

3. 施設及び設備の維持管理

- ・地域グループ利用の受付及び管理
- ・施設の清掃及び設備・機器類の点検

【実績】

1. じゅらく生きがい活動センター（開館日：月曜日から金曜日、祝日を除く）
開館日数 241 日、利用者数 16,453 人（1 日平均 68.2 人）
（上記の内、通所サービスについて）
毎週火曜日と木曜日に実施
実施日数 95 日、利用人数 1,012 人（1 日平均 10.6 人）
2. 双海生きがい活動センター（開館日：月曜日から金曜日、祝日を除く）
開館日数 240 日、利用者数 2,635 人（1 日平均 10.9 人）
3. 下灘老人憩の家（開館日：月曜日・水曜日・金曜日（祝日を除く））
開館日数 144 日、利用者数 2,028 人（1 日平均 14.0 人）

《在宅介護事業》**14. 在宅介護支援センター事業**

※決算区分No.20

【事業内容】

在宅や地域生活をおくる上で援護を必要とする高齢者及びその家族等の相談に応じ、必要な保健・福祉・医療サービスが受けられるよう関係機関と連絡調整を行うとともに、介護予防や独居高齢者等の見守り、あるいは虐待などさまざまな課題の発見及び解決に向けた支援を行った。

【実績】

相談者数： 実人数 17 人 延 34 件
相談内容： 介護保険

15. 徘徊高齢者 SOS ネットワーク（在宅介護支援センター）事業

※決算区分No.20

【事業内容】

認知症高齢者の所在がわからなくなった場合に、伊予市、伊予警察署その他関係機関・団体等が一体となって早期発見・保護に努め、認知症高齢者を抱える家族が安心して生活できるよう支援した。

【実績】

- ・登録者数 21 人（令和4年3月末現在）
（内 訳：伊予18人・中山1人・双海2人）
- ・発動件数 0 件

17. 伊予市子育て支援ヘルパー派遣事業

※決算区分No.22

【事業内容】

妊娠中及び出産後の母子並びに児童の養育について支援が必要である家庭に対し、家事や育児の支援を行うことにより、心身の安定と育児不安を解消し、養育者の負担軽減と安定した児童の養育を図れるようにした。

【実績】

相談－ 1 件 利用－ 2 件

18. 伊予市一般介護予防事業

※決算区分No.23

【事業内容】

市内在住の 65 歳以上の高齢者やその支援活動に関わる方に対し、要介護状態に陥ることなく地域で自立した生活が送れるよう、転倒予防、認知症予防などの介護予防のための知識の普及、啓発等を行った。

【実績】

認知症予防教室

実施期間： 令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月

実施場所： 伊予市総合保健福祉センター

実施回数： 12 回

参加者数： 延 107 人

《介護保険事業》

19. 居宅介護支援事業

※決算区分No.21・24

【事業内容】

介護支援専門員（ケアマネージャー）が要介護・要支援状態にある高齢者等に対し、可能な限り居宅において日常生活が送れるよう、本人や家族の希望、心身の状況に応じたケアプランを作成するとともに各種相談、介護サービス利用等の総合的な支援を行った。

主任介護支援専門員を配置し、特定事業所加算Ⅲを算定。中重度者や支援困難ケースへの積極的な対応や、専門性の高い人材の確保、医療、介護連携への積極的な取組等を総合的に実施することにより質の高いケアマネジメントを実施している。

【実績】

事業所名	介護支援専門員数	利用者数
伊予事務所	常勤 3人	実人数 115人 (うち介護予防 1人)

- ・毎週の事業所内事例検討会及び月1回の事業所内研修の実施。
- ・年3回の他事業所合同（居宅介護支援事業所中山幸梅園、居宅介護支援事業所ケアフル伊予、伊予診療所居宅介護支援）の事例検討会を実施。
- ・伊予市主任介護支援専門員会にて研修等の企画を立案及び実施。
- ・伊予市主催の自立支援型地域ケア個別会議に事例提供者、助言者として参加。
- ・伊予市地域包括支援センター主催の困難事例検討に助言者として参加。
- ・愛媛県社協からの委託を受け、介護支援専門員実務研修における見学実習受け入れを実施。

20. 訪問介護事業

※決算区分No.25～27

【事業内容】

ホームヘルパーが要介護者等の家庭を訪問し、出来る限り自立した生活を送れるよう食事、入浴、排泄などの身体介護や炊事、掃除などの生活援助を行った。

【実績】

1. 伊予事務所

訪問介護員数	利用者数	派遣延時間
常勤 2人	要介護者 21人	2,970時間
非常勤 9人	要支援者 26人	
計 11人	総合事業対象者 2人	

2. 中山事務所

訪問介護員数	利用者数	派遣延時間
常勤 2人	要介護者 23人	3,372時間
非常勤 6人	要支援者 16人	
計 8人		

3. 双海事務所

訪問介護員数	利用者数	派遣延時間
常勤 2人	要介護者 31人	2,856時間
非常勤 6人	要支援者 20人	
計 8人		

《障害支援事業》

21. 障害者福祉サービス・地域生活支援事業

※決算区分No.28・34

【事業内容】								
身体・知的・精神障がい者（児）が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した生活を営むことが出来るよう、入浴、排泄、食事の介助その他生活全般にわたる援助を行った。								
【実績】								
1. 居宅介護等事業 (単位：人、回、時間)								
	延べ人数	派遣回数	身体	通院身有	家事	通院身無	同行援護	時間合計
身体障害	102	1,088	201:00	31:00	684:45			916:45
障害児	0	0						0
知的障害	155	2,415	660:00	3:30	1121:30	59:00		1844:00
精神障害	263	2,673	355:30		1677:30	159:00		2192:00
同行援護	35	240					398:30	398:30
合計	555	6,416	1216:30	34:30	3483:45	218:00	398:30	5351:15
2. 地域生活支援事業								
障害種別	利用実人数	派遣延回数	派遣時間					
身体障害	0	0	0:00					
知的障害	1	42	41:30					
精神障害	2	217	180:00					

22. 障害者相談支援事業

※決算区分No.29～33

【事業内容】	
1. 障害者相談支援センター事業（伊予市委託事業）	
(1) 基幹相談支援センター等機能強化事業（障害者相談支援事業を円滑に実施し、地域の相談支援機能を強化するもの）	
<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な知識を有する困難ケース等への対応 ・市内の事業者に対する専門的な指導、助言、人材育成等に関する業務 ・市内の事業者その他各種相談機関等の連携強化に関する業務 ・地域移行・地域定着の促進に関する業務 	
(2) 住宅入居等支援事業（賃貸契約による一般住宅への入居を希望しているが、保証人がいない等の理由により入居が困難な障がい者に対し、入居に必	

要な調整等を行う)

- (3) 障害者虐待防止、障がい者の養護者に対する支援業務

2. 伊予市障害者相談支援事業（伊予市委託事業）

- (1) 福祉サービスの利用援助
- (2) 社会資源を活用するための支援
- (3) 社会生活力を高めるための支援、社会生活訓練プログラムの実施
- (4) ピアカウンセリング
- (5) 権利擁護のために必要な援助
- (6) 専門機関の紹介
- (7) その他、障がい者の在宅生活を支えるために必要な支援

3. 地域相談支援

指定一般相談支援事業所にて、障がいを持つ方が、地域で自立して生活をするための相談支援。地域移行支援では、施設・病院などから地域へ出て自立した生活を送る支援を行い、地域定着支援では、すでに自立した人が、地域生活を続けるための支援を行う。

4. 計画相談支援

指定特定相談支援事業所にて、個々に適した障害福祉サービスを利用するための相談支援。サービス利用支援では障害福祉サービス利用開始までをサポートする支援であり、継続サービス利用支援では、利用開始した障害福祉サービスの継続をサポートする支援。

5. 障害児相談支援

指定障害児相談支援事業所にて、個々に適した障害児通所サービスを利用するための相談支援。障害児支援利用援助では、通所サービスの利用開始までをサポートする支援であり、継続障害児支援利用援助では、利用を開始した通所サービスの継続をサポートする支援。

【実績】

1. 障害者相談支援センター事業（伊予市委託事業）

○関係機関定例会の開催

- ・相談支援事業者等定例会(伊予市自立支援協議会/相談支援部会)

期 間： 令和4年4月～令和5年3月

回 数： 11回

場 所： 社協伊予事務所2階会議室

参加者： 延べ97人

内 容： 情報提供・情報共有、事例検討ほか

- ・障がい児福祉サービス事業者等定例会(伊予市自立支援協議会/障がい児支援部会)

期 間： 令和4年4月～令和5年3月

回 数： 3回

場 所： 伊予市役所4階大会議室

参加者： 延べ49人

内 容： 情報提供・情報共有・事例検討ほか

- 障がい福祉サービス等事業者研修会の開催

期 間： 令和4年8月～令和4年11月

回 数： 4回

毎年5回を予定している。新型コロナウイルス感染防止にて4回となった。

2. 伊予市障害者相談支援事業（伊予市委託事業）

○利用者数 148人（障がい者123人、障がい児25人）

○相談件数 690件（障がい者611件、障がい児79件）

○支援内容及び件数

- ・福祉サービスの利用等（141）、障がいや病状の理解（67）、健康・医療（73）、不安解消・情緒安定（39）、保育・教育（23）、家族関係・人間関係（37）、家計・経済（14）、生活技術（95）、就労（75）、社会参加・余暇活動（9）、権利擁護（1）、その他（116）

合計 690件

3. 地域相談支援

○地域移行支援・地域定着支援

件 数 0件 実績なし

4. 計画相談支援

件 数 507件（1件に対して内容が複数の場合あり）

内 容 利用支援（109）、継続支援（268）、初回加算（17）、サービス提供時モニタリング加算（64）、集中支援加算（47）、入院時情報連携加算（2）

5. 障害児相談支援

件 数 279件（1件に対して内容が複数の場合あり）

内 容 利用支援（101）、継続支援（132）、初回加算（11）、サービス提供時モニタリング加算（24）、集中支援加算（11）